

交通システムの比較

名称	ミニ地下鉄	モノレール	新交通システム	LRT	BRT
					
概要	小径鉄車輪の利用でレール面から車両床面までの高さを従来型地下鉄より下げて、車体幅を縮小することで、トンネル等構造物を小断面化した地下鉄である。	主として道路上空に架設される一本の軌道桁の上部に跨った車両、あるいは下部にぶら下がった車両で輸送するシステム。ゴムタイヤにより走行する。	主として道路上空に設置した専用軌道上を案内軌条によってガイドされたゴムタイヤにて走行する比較的小型の車体を持つシステム。	LRTは、従来の路面電車に対して、加減速性能の向上、乗り心地の改善、バリアフリー化等を図った高性能な車両(LRV)を用いた中量軌道系輸送システムである。既存の鉄道との直通運転も可能である。	バスを発展させ、輸送力、速達性を向上させたシステム。バスという以外に明確な定義はないが、走行方法としてバス専用レーンを持ち、輸送力の大きい連節車両が走行するシステムをイメージされることが多い。
路線の柔軟性	△	△	△	○	◎
まちとの近さ	△	△	△	◎	◎
道路の影響	◎	○	○	△	△
シンボル性	△	△	△	◎	○
乗り心地	◎	◎	◎	◎	△
速度	約30km/h	約30km/h	約25km/h	約20km/h	約20km/h
輸送力	11,400～23,400人/h	12,000人/h (6,000～18,000)	9,000人/h 程度	2,880～5,400人/h (両方向)	3,120人/h (連節車両 両方向)
	輸送力は、4～8両編成(90人/1両)、3分間隔、混雑率150%を想定	輸送力は2～6両編成(100人/1両)、3分間隔、混雑率150%を想定	輸送力は4～6両編成、3分間隔、混雑率150%を想定	輸送力は18～30m車両、5分間隔、混雑率150%を想定	輸送力は連結車両、5分間隔、混雑率150%を想定
事業費	200～300億円/km	100～150億円/km	50～150億円/km	20～30億円/km	5～15億円/km